

◇令和7年度事業の実績について

大船渡市防災学習ネットワーク運営協議会（以下「協議会」という。）は東日本大震災の経験や教訓の伝承及び防災学習の推進に向けて、関係機関・団体等と連携しながら、防災学習ネットワーク（以下「ネットワーク」という。）に関する津波伝承施設等の紹介や津波伝承・防災学習の取組などについて、市内外に向けて情報発信を行うとともに、関連する事業やイベント等を相互に支援する。

（以下のR7取組概要及びR7取組実績のうち、新たな取組及び実施したものについて下線表記している。）

事業	取組項目	R7 取組概要	R7 取組実績	対象	実施時期	実施主体	決算見込み
防災学習ネットワークに関する情報発信	パンフレットの活用	<p>(1) パンフレットの配架 ・市内の震災伝承施設や市外の東日本大震災伝承館、岩手県立図書館などにパンフレットを配架し、継続的に周知を図る。 【主な配架場所】 ネットワーク構成施設、道の駅さんりく、三陸鉄道盛駅、碓石インフォメーションセンター、東日本大震災津波伝承館、いのちをつなぐ未来館、岩手県立図書館</p> <p>(2) DMの送付 当市の防災学習・震災伝承施設を紹介するDMを送付し、広く周知を図る。DMの内容は、庁内関係課、市観光物産協会と調整する。</p>	<p>(1) 市内外各所にパンフレットを配架し、継続的に周知を図った。 【主な配架場所】 ネットワーク構成施設、道の駅さんりく、三陸鉄道盛駅、碓石インフォメーションセンター、東日本大震災津波伝承館、いのちをつなぐ未来館、岩手県立図書館 ・東日本大震災津波伝承館へパンフレット200部を追加で配架した。</p> <p>(2) DMの内容検討 キャッセン大船渡の「防災×観光アドベンチャーあの日」プログラムとの連携をメインに検討し、プランや連携手法を確立したうえで、市内小中学校は訪問説明、県内小中学校へはDMの送付を行う等調整している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民(児童・生徒含む)</li> <li>来訪者</li> <li>県内学校</li> <li>公的機関、市内事業者・団体等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>随時</li> <li>パンフレット配架</li> <li>イベント開催時</li> <li>パンフレット配布</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市(防災管理室・関係課)</li> <li>市観光物産協会</li> <li>キャッセン大船渡</li> </ul>	—
	SNS等による情報発信	<p>(1) SNS等での情報発信 市公式ホームページ、SNS(X)、市広報紙を活用し、震災伝承施設の紹介やイベント告知など、さまざまな機会を捉え、情報発信を行う。SNSで発信した情報は、閲覧数などユーザーの反応を把握し、コンテンツの内容を工夫するなど、より効果的な情報発信に努める。</p>	<p>(1) SNSを活用し、防災学習館や防災学習アーカイブスの紹介、その他防災情報など、機を捉えて情報発信を行った。(別紙1参照) Xでは、大船渡らしい写真や投稿がいいね数が多い傾向である(広聴広報研修より)。防災に関する投稿では、炊き出し訓練、パーティーの展示、出前講座、追悼献花の投稿がいいね数が多く、令和6年度と比較すると、エンゲージメント率が高い投稿が増えた(平均値は前年度比50%UP)。関心が高い投稿の傾向としては、防災を身近に感じられる内容(訓練や出前講座の様子など)や、詳細クリックにつながるような興味を惹く写真を複数枚掲載した投稿が挙げられる。 広報おおふなどでは、防災訓練の情報や非常持出し品、陸蘭の自動閉鎖など災害に備えるための情報を随時掲載し、市民周知を図った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民</li> <li>X利用者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>随時</li> <li>SNS発信</li> <li>市広報紙掲載</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市(防災管理室)</li> </ul>	—
防災学習ネットワーク関連施設等の利用促進	防災学習館等の活用促進	<p>(1) 市内小中学校への情報提供 震災を経験していない児童・生徒の防災教育ツールとして、防災学習館の活用や出前講座の実施などについて、教育委員会と連携しながら、市内小・中学校に対し情報提供等を行う。</p> <p>(2) 視察の受け入れ 市外からの震災に関する視察等については、受け入れ先を防災学習館に設定するなど、視察内容に応じて調整を行う。 令和7年大船渡市大規模林野火災に関する行政視察等の問い合わせが多数寄せられており、視察受け入れ先の一つとして、防災学習館にて林野火災の初動対応や被害状況等に関する座学を実施し、併せて東日本大震災の防災学習プランを提供する。</p> <p>(3) 体験プログラムの開発 児童・生徒向けに防災学習館で行うことができる体験型プログラム(クイズ、防災グッズ作成、簡易トイレ設営など)を検討したうえで、学習メニューを整理し、市内小中学校等へ提案する。</p> <p>(4) 林野火災コーナーの設置 令和7年大船渡市大規模林野火災に関するパネル展示(火災発生の要因、活動写真など)に向け、総務省消防庁や研究機関等から情報収集を行う。</p>	<p>令和7年度の防災学習館利用者数は501人(3/12時点)、博物館の利用者数は6,058人(2月末時点)</p> <p>(1) 市内小中学校(東朋中、大船渡中、大船渡一中、赤崎小)を訪問し、資料(別紙2)をもとに防災学習館の活用について提案を行った。 今後は未訪問の小中学校を含め、定期的に学校訪問し防災学習館の紹介を行っていく。 小中学校等での利用状況は、以下のとおり。 ・4月30日 教職員新任研修 6人 ・9月30日 東朋中1年生 34人 ・10月6日 滝沢第二中 17人</p> <p>(2) 同館において、林野火災に関する視察対応(林野火災の概要説明+学習館の見学)を行った。(実績は別紙3参照)</p> <p>(3) 1階大広間に、パーティー、簡易トイレを設置し、体験型プログラムとしてパーティーの組立、凝固剤による簡易トイレの疑似体験を実施可能にした。</p> <p>(4) 柴山准教授協力のもと展示資料の作成を進めている。</p> <p>(5) 博物館の取組 ①常設展示の一部改修(津波浸水区域図の更新) 従来は、三陸町との合併前の旧大船渡市域を対象に、明治三陸地震津波、昭和三陸地震津波、昭和チリ地震津波の浸水区域図を展示していたが、新たに東日本大震災津波の浸水区域を追加するとともに、対象範囲を合併後の市全域へ拡大するなど更新を行った。 ②展示解説会の開催 更新した津波浸水区域図等を活用し、展示解説会を開催した(参加者数:21人)。 ③教育旅行の受入 1校(341人)の教育旅行を博物館にて受入対応した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内児童・生徒</li> <li>視察団体等</li> <li>来訪者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>随時</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市(防災管理室)</li> <li>市教育委員会</li> </ul>	—

事業	取組項目	R 7 取組概要	R 7 取組実績	対象	実施時期	実施主体	決算見込み
	各団体との連携	<p>(1) <u>周遊プランの造成</u> 防災×観光の一体的取組として、庁内関係課、市観光物産協会、市内観光団体（椿の里・大船渡ガイドの会、キャッセン大船渡など）と連携・協力し、学校や旅行会社へ提案できる周遊商品の造成を進める。</p> <p>(2) <u>キャッセン大船渡との連携（「あの日」を活用した取組）</u> キャッセン大船渡と連携し、市外向けの誘客や市内児童生徒向けに、防災学習プログラム「防災×観光アドベンチャーあの日」を活用した震災伝承の取組を進める。</p>	<p>(1) <u>周遊プランの造成</u> 「防災学習館」と「防災×観光アドベンチャーあの日」を相互に利用促進する連携方法を考案するため、キャッセン大船渡と打合せを行った。連携案は以下のとおり。 ・「あの日」無料体験デーに併せた、防災学習館の利用提案 ・防災学習館の利用による、「あの日」プログラム料金の割引等</p> <p>(2) <u>キャッセン大船渡との連携</u> 周遊プラン、連携手法を確立したうえで、DMの送付や小中学校への訪問提案を行っていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民(児童・生徒含む)</li> <li>来訪者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>随時</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市(防災管理室、観光交流推進室)</li> <li>市観光物産協会</li> <li>キャッセン大船渡</li> <li>椿の里・大船渡ガイドの会等</li> <li>赤崎地区振興協議会</li> </ul>	—
防災学習ネットワーク関連施設等の利用促進	防災イベントの実施	<p>(1) 3月11日の諸行事（予定）</p> <p>① 東日本大震災犠牲者追悼献花（市主催） みなと公園展望広場（祈りのモニュメント前）において、市長等による代表献花、一般献花を実施するとともに、3月11日前後の一定期間、犠牲者芳名板を設置する。</p> <p>(2) 防災イベントの実施 市観光物産協会主催「おおふなぼーとで防災ウィーク」を令和8年3月に実施予定である。</p>	<p>(1) 3月11日の諸行事</p> <p>① 東日本大震災犠牲者追悼献花（市主催） みなと公園展望広場（祈りのモニュメント前）において、市長等による代表献花、一般献花を実施するとともに、3月5日から24日までの間、犠牲者芳名板を設置する。</p> <p>② 慰霊の集い（赤崎地区振興協議会等主催） 防災学習館において、慰霊碑への献花や灯籠の設置、館内での写真展示などを実施。参加者80人。 ※ 神戸大学ボランティア協力</p> <p>(2) おおふなぼーとで防災ウィークを2月28日～3月11日で開催した（市観光物産協会主催）。</p> <p>(3) 市や関係団体主催のイベント等の機会に、令和7年大船渡市大規模林野火災に関するパネル展示や復旧・復興PRに係る取組を実施した（実績は別紙4参照）。</p> <p>(4) <u>林野火災の調査研究報告会を実施（研究グループ、市主催）</u> 1月24日に突発科研費大船渡市山林火災総合調査研究グループによる、研究成果を発表する現地報告会を開催。報告会開始前に市のPR動画を現地およびオンラインにて放映し紹介した。 現地参加者：158人 オンライン参加者：89人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民(児童・生徒含む)</li> <li>来訪者</li> <li>イベント来場者</li> <li>関係者・関係企業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3月追悼献花慰霊の集い</li> <li>随時</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市(防災管理室、観光交流推進室、企画調整課、林野火災対策局)</li> <li>市観光物産協会</li> <li>キャッセン大船渡</li> <li>椿の里・大船渡ガイドの会等</li> <li>赤崎地区振興協議会</li> </ul>	—
	東北復興ツーリズム推進ネットワーク等への参画	<p>(1) 東北復興ツーリズム推進ネットワークへの参画 令和5年7月25日、東北における復興ツーリズムの推進を目的に「東北復興ツーリズム推進ネットワーク」が設立された。 当市は、観光交流推進室、防災管理室が担当窓口として参画している。 JR東日本、旅行会社、自治体が三位一体となって、それぞれが持つ知見・ノウハウを最大限活かし、東北への教育旅行の誘致に取り組むものである。参画団体は、行政50団体、旅行会社等39団体である。 オンライン会議等に参加し、旅行会社や各自治体から教育旅行やツアーの傾向、取組事例、課題など情報収集する。</p> <p>(2) 3.11メモリアルネットワークへの参画 定期的に開催されるアドバイザー会議に参加し、各自治体や団体等における震災伝承の取組や課題等の共有、意見交換を行い、参考事例の収集等を行う。</p>	<p>(1) 東北復興ツーリズム推進ネットワークへの参画 第6回会議（10月9日）にオンライン参加し、各団体の取組や課題について情報共有を行った。 【伝承ロードが実施したアンケート結果（対象1万人（首都圏、東北））】 ・伝承施設への訪問動機は「施設の近くにきたので、ついでに訪問した」が最も多い。 ・伝承施設への不満は「アクセスが良くない」「訪問する事前の情報が少ない」「周辺に他の観光施設がない（遠い）」が多い。</p> <p>(2) 3.11メモリアルネットワークへの参画 第5回会議（1月21日）にオンライン参加し、震災伝承に関する意見交換を行った。 ・各施設、団体において来訪者数は減少傾向にある（修学旅行や一般の団体利用の減少等が要因）。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝承施設・団体</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>随時</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市(観光交流推進室・防災管理室)</li> <li>市観光物産協会</li> </ul>	—
震災の記憶や教訓等の記録・保存	大船渡市防災学習アーカイブスの充実	<p>市内の震災伝承施設や震災遺構、復旧・復興に関する取組等のコンテンツを登録した防災学習アーカイブスサイトを運営する。大船渡市防災学習館、おおふなぼーとに設置するデジタルサイネージのほか、市ホームページから閲覧が可能である。 <u>市内小中学校が取り組む防災・復興教育のほか、浸水水位を表示している建物や津波到達点の碑など新たなコンテンツを追加するとともに、SNSや市広報紙でアーカイブスサイトの周知を図る。</u></p>	<p>令和7年度は、林野火災に関するコンテンツ6件を追加した。登録件数は全97件である。 コンテンツ追加後、SNS(X)に投稿し、防災学習アーカイブスの周知を図った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民(児童・生徒含む)</li> <li>来訪者</li> <li>サイト閲覧者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>随時</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市(防災管理室)</li> <li>ネットワーク構成団体</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サイト運用管理 894千円</li> </ul>

事業	取組項目	R 7 取組概要	R 7 取組実績	対象	実施時期	実施主体	決算見込み
震災の記憶や教訓等の記録・保存	3.11 伝承ロードへの登録 (東北地方整備局の取組)	震災伝承施設として、大船渡市防災学習館、市立博物館、大船渡市魚市場など、現登録件数は26件である。(別紙3参照)	<ul style="list-style-type: none"> <li>震災伝承施設として、キャッセン大船渡の「防災×観光アドベンチャーあの日」を登録申請予定である(現在、キャッセンにて申請書確認中)。登録は「施設」である必要があることから、キャッセン大船渡エリア全体を伝承施設とみため、その中で防災学習プログラム「あの日」を提供しているという方針での申請となる。</li> <li>伝承ロードへの登録を契機に、(株)キャッセン大船渡を防災学習ネットワーク運営協議会に構成員としての参画を予定している。(打合せ時にキャッセン大船渡へ提案済み)</li> <li>防災学習館の第3分類登録に当たり、ピクトグラム案内標識の設置(国・県・市道)を令和8年度に予定している。(震災伝承ネットワーク協議会における整備計画による)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民</li> <li>伝承ロード利用者</li> </ul>	令和8年4月	市(防災管理室)	—
	津波伝承や防災・減災を学ぶ活動への支援	<ol style="list-style-type: none"> <li>防災出前講座の実施 市内小・中学校、高校等からの依頼により防災学習(出前講座)を実施する。</li> <li>防災学習ネットワーク施設との連携 市民等の震災伝承の機会を充実させるため、大船渡津波伝承会等が企画するパネル展などのイベント運営を支援する。会場の確保やイベント告知など、連携を図る。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>市内小学校、団体からの依頼により防災出前講座を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>10月21日 赤崎小学校 4年生(16人)を対象に座学、実技(防災倉庫見学、パーテーション・プライベートテント設置、簡易トイレ体験(水を凝固剤で固める体験))を実施した。</li> <li>12月7日 外国人対象防災講座 外国人技能実習生等(参加者13人)向けに座学、実技(津波避難誘導標識による避難経路の確認)を実施した。</li> </ul> </li> <li>令和7年度は大船渡市津波伝承会の企画展示を15回実施した。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民</li> <li>市内学校・団体</li> </ul>	随時	<ul style="list-style-type: none"> <li>市(防災管理室)</li> <li>市観光物産協会</li> <li>大船渡津波伝承会</li> </ul>	—
その他	ゲートウェイの役割、ネットワークの企画・運営	<p>【総合案内】 おおふなぼーとではゲートウェイとして、エントランス内の防災学習コーナーの設置、来訪者へのパンフレット配布や施設紹介など、総合案内を行う。</p> <p>【コーディネート業務】 ① 旅行会社等の商談、教育旅行の受け入れ等 市観光物産協会では、教育旅行誘致に向けた旅行会社との商談、視察を含めた教育旅行の受入に対応する。</p> <p>【ネットワークの企画・運営】 ① 担当職員の配置 防災業務全般に対応するため、令和7年4月から防災管理室に職員1名を増員。防災学習事業の担当のほか、防災関連業務を兼務する。 市内小中学校や観光団体等との連絡調整役、各種事業の企画・運営役として、震災を経験していない子供たちへの防災学習や防災×観光の一体的事業推進を図る。</p>	<p>【総合案内】 エントランス内に防災学習コーナーを設置し、防災学習アーカイブスや祈りのモニュメント等の震災伝承施設を紹介している。</p> <p>【コーディネート業務】 ① 旅行会社等の商談、教育旅行の受け入れ等 大船渡市観光物産協会において、教育旅行誘致に向けた商談(東京、大阪、函館、札幌)、視察を含めた教育旅行の受け入れ(岩手県、東京都、神奈川県、大阪府の小・中学、高校等：計579人)に対応した。</p> <p>【ネットワークの企画・運営】 ① 担当を中心に、市内小中学校への防災学習館の活用提案のほか各団体との連絡調整や打合せを実施した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民</li> <li>来訪者</li> <li>旅行団体等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通年 総合案内、商談等</li> <li>随時 関係団体等との意見交換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市(防災管理室・観光交流推進室)</li> <li>市観光物産協会</li> </ul>	—
	防災学習館の運営	<ol style="list-style-type: none"> <li>漁村センター指定管理者である赤崎地区振興協議会に以下の業務を委託し、防災学習館の管理・運営を行う。 (利用者目標：500人) <ul style="list-style-type: none"> <li>管理運営業務 防災学習館の予約受付、清掃、照明器具や展示機器の管理、消耗品等の補充などを行う。</li> <li>館内ガイド業務 来館者に対して、震災の経験や教訓、自然災害の備えなどについて伝え、防災・減災に関する知識の普及と意識の啓発を図るため、来館者の案内、展示物等の説明を行う。</li> </ul> </li> <li>エアコン設置 2階展示室(2部屋)に、エアコンを設置し、施設環境の充実を図る。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>赤崎地区振興協議会に以下の業務を委託し、防災学習館の管理・運営を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>管理運営業務 防災学習館の予約受付、館内・施設周辺の清掃、照明器具や展示機器の管理、消耗品等の補充を行った。</li> <li>館内ガイド業務 令和7年度ガイド実績：18回 来館者に対して、震災の経験や教訓、自然災害の備えなどについて伝え、防災・減災に関する知識の普及と意識の啓発を図るため、来館者の案内、展示物等の説明を行った。</li> </ul> </li> <li>防災学習館の利活用を促進するため、施設環境の充実を図る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>2階展示室(2部屋)にエアコンを設置した。</li> <li>1階大広間にスポットクーラー2台設置した。</li> </ul> </li> </ol>	漁村センター指定管理者	通年	<ul style="list-style-type: none"> <li>市(防災管理室)</li> <li>赤崎地区振興協議会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理運営 384千円</li> <li>館内ガイド 72千円</li> <li>エアコン設置 1,001千円</li> <li>スポットクーラー 241千円</li> </ul>
	協議会の開催	事業計画案、事業実績等について協議する。 第1回会議を7月下旬、第2回会議を2月に開催予定。	<ol style="list-style-type: none"> <li>令和7年8月19日 第1回会議 令和6年度事業実績、令和7年度事業計画案について協議した。</li> <li>令和8年3月26日 第2回会議 令和7年度事業実績について協議する。</li> </ol>	協議会委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年7月</li> <li>令和8年3月</li> </ul>	市(防災管理室)	<ul style="list-style-type: none"> <li>謝金・旅費 65千円</li> </ul>